

---

# ***Rack2-Filer*** ***Smart***

## **データ移行ガイド**

---

## はじめに

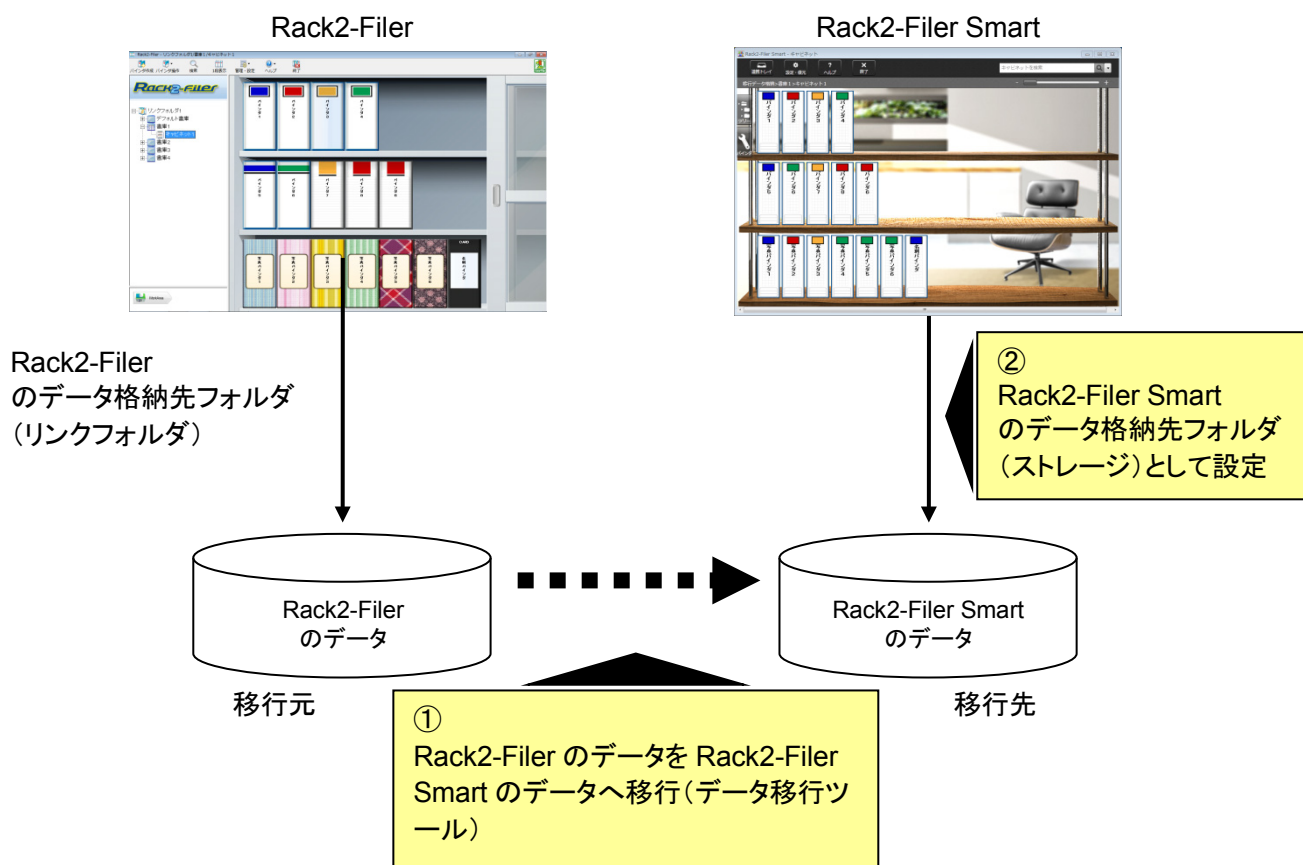
本書は、「Rack2-Filer」に保管されているデータを「Rack2-Filer Smart」に移行する手順について説明しています。本書で使用する用語や略記については、「本書の記載について」(15 ページ)を参照してください。

## 目次

1. データ移行について.....	3
2. データ移行ツールの動作環境.....	6
3. 移行されるデータ.....	6
4. 移行されないデータ.....	7
5. データ移行の流れ.....	8
6. データ移行の結果確認.....	12
7. Rack2-Filer との互換性について.....	12

# 1. データ移行について

Rack2-Filer をご利用のお客様は、Rack2-Filer で作成したデータを、Rack2-Filer Smart のデータの形式に変換して利用することができます。データの移行には、「データ移行ツール for Rack2-Filer」を利用します。以降、本書では、「データ移行ツール for Rack2-Filer」のことを「データ移行ツール」と記載します。データ移行の概要を以下に示します。



## 備考

- Rack2-Filer と Rack2-Filer Smart は、1 台のパソコンに同時にインストールして使用することができます。また、別々のパソコンにインストールして使用することもできます。
- Rack2-Filer のデータ (データ格納先フォルダ) は、Windows のユーザーごとに管理されています。ユーザーごとにデータ移行を行う必要があります。
- データ移行ツールを利用しても、移行元の Rack2-Filer のデータは削除されません。

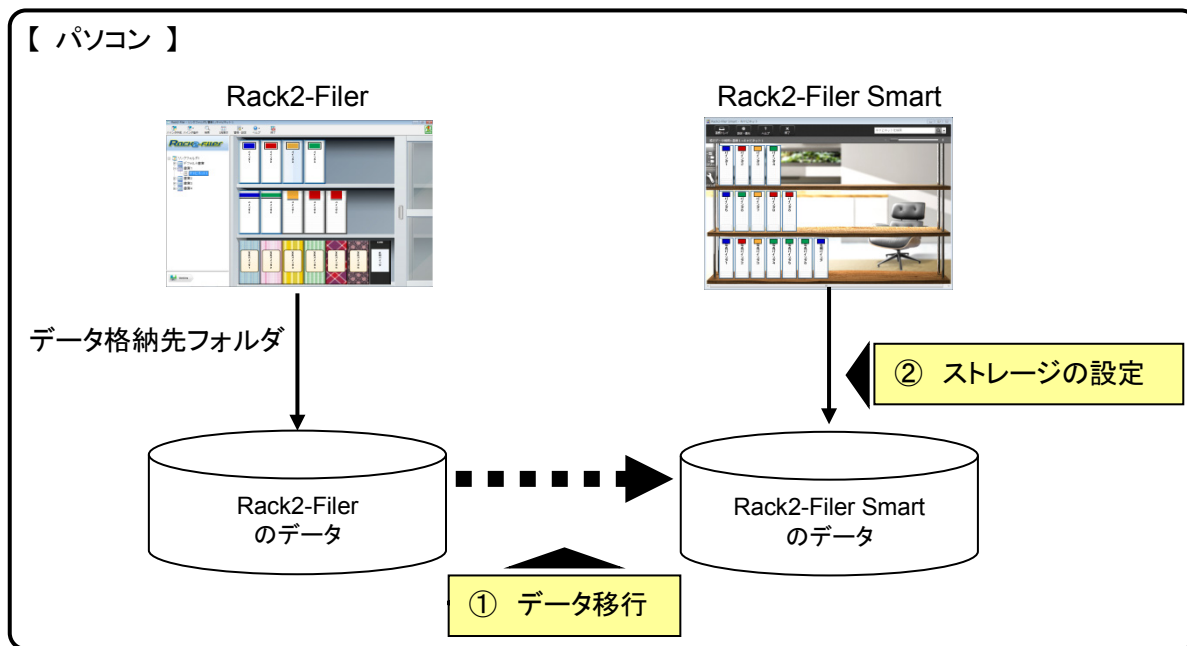
データ移行の代表的なパターンは以下のとおりです。

- (1) Rack2-Filer と Rack2-Filer Smart が同じパソコンにインストールされている場合
- (2) Rack2-Filer と Rack2-Filer Smart が別のパソコンにインストールされている場合
- (3) ネットワーク上の共有フォルダを Rack2-Filer のデータ格納先フォルダとして使用している場合

以降、各パターンでの概要を説明します。

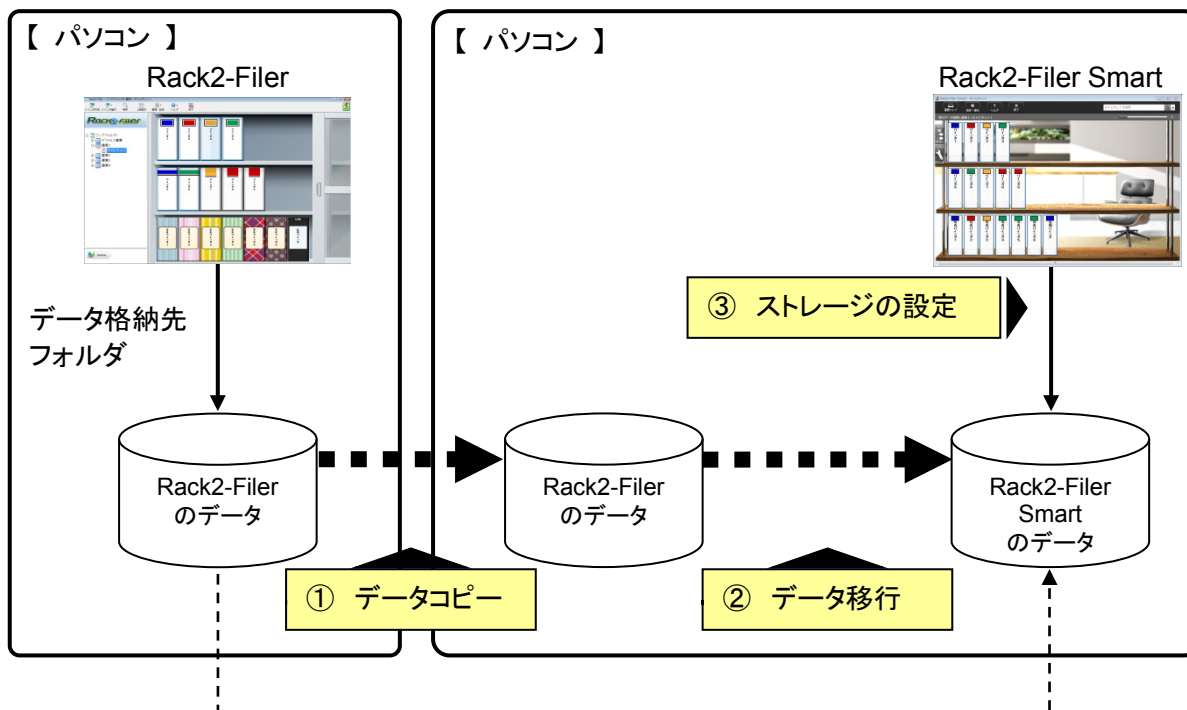
(1) Rack2-Filer と Rack2-Filer Smart が同じパソコンにインストールされている場合

データを移行後、Rack2-Filer Smart のストレージの設定を行います。



(2) Rack2-Filer と Rack2-Filer Smart が別のパソコンにインストールされている場合

USB メモリなどの外部記憶媒体を利用して、Rack2-Filer のデータを、Rack2-Filer Smart がインストールされているパソコンへコピーした後で、データ移行を行います。

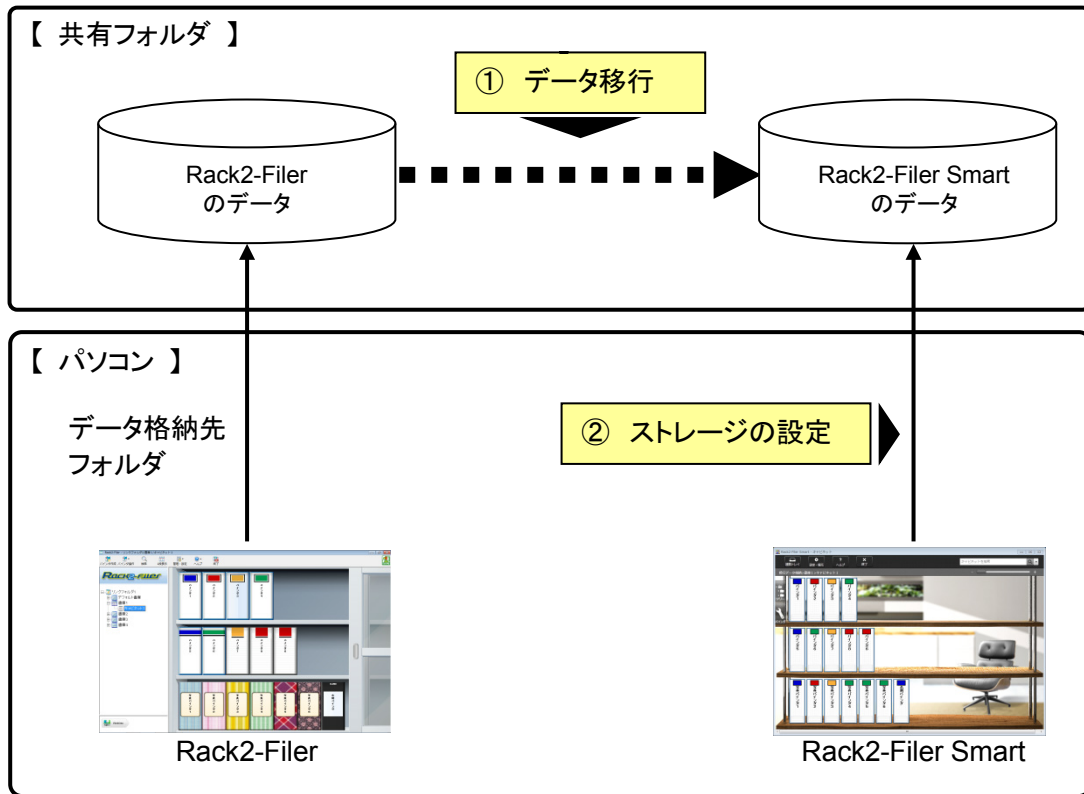


**備考**

- Rack2-Filer のデータ格納先フォルダを、Rack2-Filer Smart がインストールされたパソコンから共有フォルダとして参照できる場合、データをコピーせずに、直接データを移行することも可能です。

(3) ネットワーク上の共有フォルダを Rack2-Filer のデータ格納先フォルダとして使用している場合

ネットワーク上の共有フォルダを、Rack2-Filer のデータ格納先フォルダとして使用している場合、共有フォルダ上でデータ移行を行い、Rack2-Filer Smart のストレージの設定を行います。



**注意**

- 共有フォルダで Rack2-Filer のデータを複数人で共有している場合、全員の Rack2-Filer を終了させてから、データ移行を行ってください。

## 2. データ移行ツールの動作環境

データ移行ツールの動作環境は次のとおりです。

- Windows 8.1 (32 ビット / 64 ビット)
- Windows 8 (32 ビット / 64 ビット)
- Windows 7 (SP1 以降)(32 ビット / 64 ビット)
- Windows Vista (SP2 以降)(32 ビット / 64 ビット)
- Windows XP (SP3 以降)(32 ビット)

### 注意

- Rack2-Filer Smart をインストールすると、データ移行ツールも一緒にインストールされます。
- Windows 8 および Windows 8.1 上では、データ移行ツールはデスクトップアプリケーションとして動作します。
- Windows 2000 / Windows Me / Windows 98 にインストールされた Rack2-Filer のデータを移行する場合は、Rack2-Filer のデータを Rack2-Filer Smart がインストールされたパソコンにコピーしてから、データ移行ツールを使用して移行してください。

## 3. 移行されるデータ

データ移行ツールを使用して、移行できるデータは、次のバージョンの Rack2-Filer で作成したデータです(言語によっては、存在しないバージョンがあります)。

- Rack2-Filer V3.0 / V4.0 / V5.0
- Rack2-Filer Lite V4.0

データ移行ツールを利用すると、Rack2-Filer の書庫 / キャビネット / バインダを、Rack2-Filer Smart に移行することができます。データの移行は、バインダ単位で行うことができ、Rack2-Filer Smart のバインダの、以下のページの種類に移行されます。

Rack2-Filer のバインダの種類	Rack2-Filer Smart のバインダ(ページの種類)
通常バインダ	ノーマルページ
名刺バインダ	名刺ページ
写真バインダ	写真ページ
未整理バインダ	ノーマルページ

### 注意

- 電子ファイルのリンク情報は、リンク先のデータにアクセスできる場合は実ファイルとして取り込まれます。リンク先のデータにアクセスできない場合は、ページデータのみ移行されます。

## 4. 移行されないデータ

データ移行ツールを利用しても、次のデータは移行されません。

- WorkArea のデータ
- 環境設定
  - バインダ管理画面の環境設定 …… リンクフォルダ情報、ScanSnap 連携の設定
  - ビューア画面の環境設定 …… ビューアの動作環境、めくり速度の設定など
  - WorkArea 画面の環境設定 …… WorkArea のデータ格納先
- バインダの設定 …… タイトルの書式、背表紙ラベルのパターン
- スタンプの種類情報 …… スタンプの編集で作成したスタンプ

### 注意

- WorkArea のデータを移行する場合は、データをバインダに取り込んでから移行してください。

## 5. データ移行の流れ

データ移行の流れは以下の通りです。

- (1) データ移行の事前準備
- (2) データ移行ツールを実行する
- (3) Rack2-Fileer Smart のデータ格納先フォルダの設定を行う

各操作の手順を以下に説明します。

### (1) データ移行の事前準備

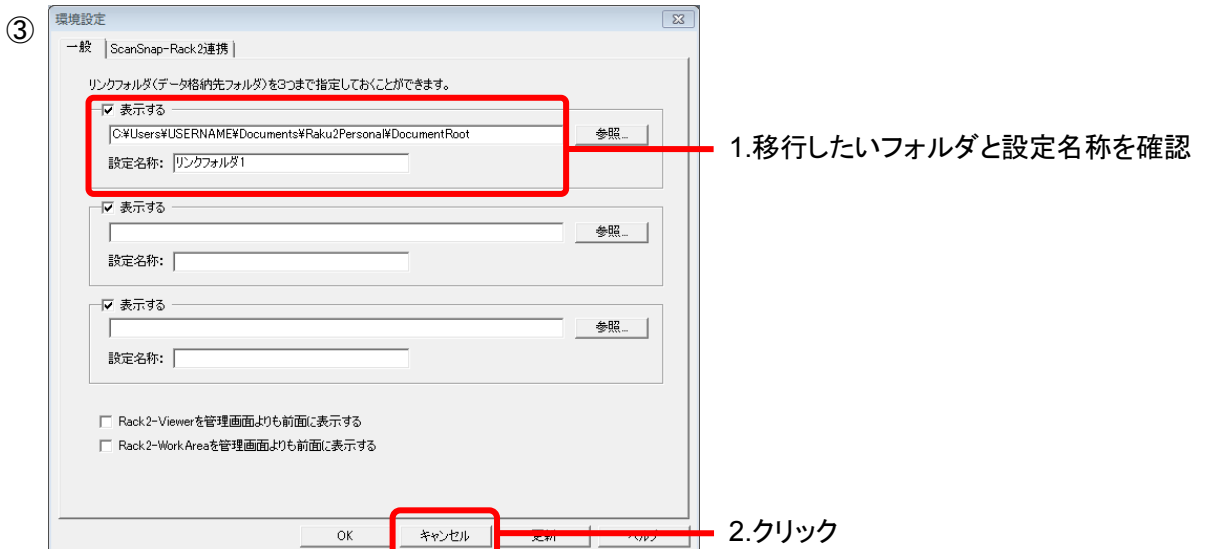
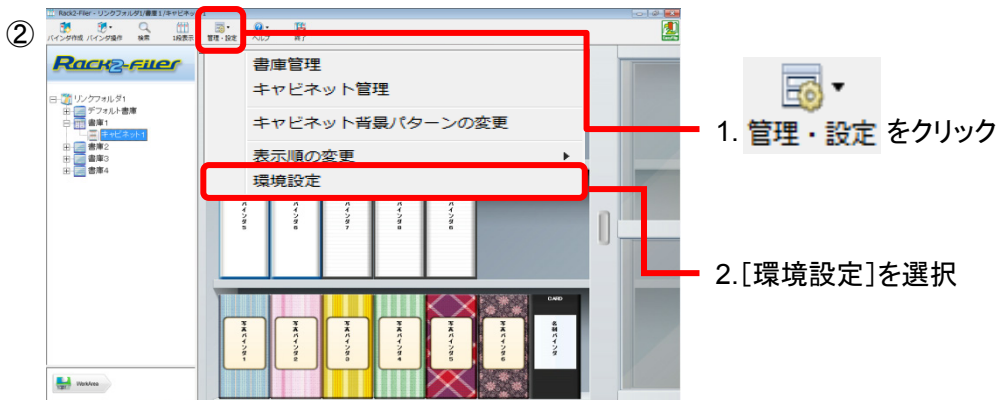
データ移行ツールを実行する前に、以下の操作を行ってください。

- Rack2-Fileer のデータ格納先フォルダの場所を確認する
- Rack2-Fileer のデータ格納先フォルダのデータを、Rack2-Fileer Smart のパソコンにコピーする(必要時)
- Rack2-Fileer を終了する

各操作の詳細を以下に説明します。

- Rack2-Fileer のデータ格納先フォルダの場所を確認する

① Rack2-Fileer を起動します。





■ **Rack2-Filer のデータ格納先フォルダのデータを、Rack2-Filer Smart のパソコンにコピーする(必要時)**

Rack2-Filer と Rack2-Filer Smart が別のパソコンにインストールされている場合で、データをローカルドライブに配置するときは、Rack2-Filer のデータ格納先フォルダを、USB メモリなどの外部記憶媒体を利用して、Rack2-Filer Smart がインストールされているパソコンにコピーしてください。

■ **Rack2-Filer を終了する**

Rack2-Filer の以下のアプリケーションを終了させてください。

- バインダ管理画面
- ビューア画面
- WorkArea 画面

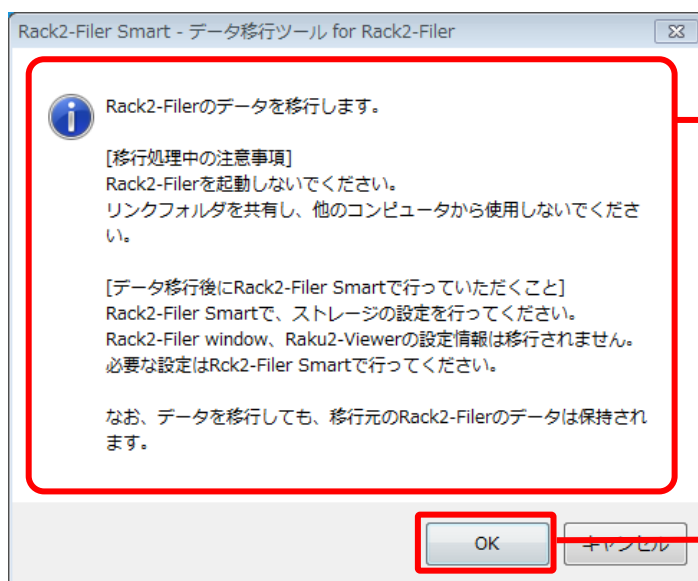
(2) **データ移行ツールを実行する**

データ移行ツールを起動して、データ移行を実行します。

① **データ移行ツールを起動します。**

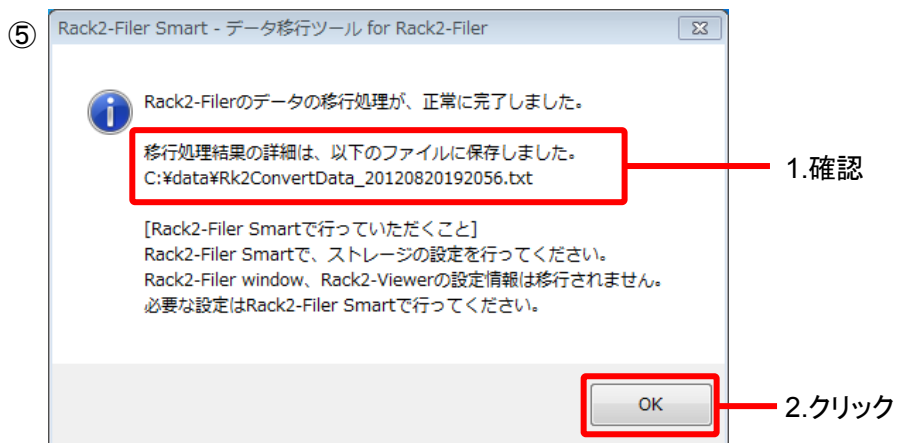
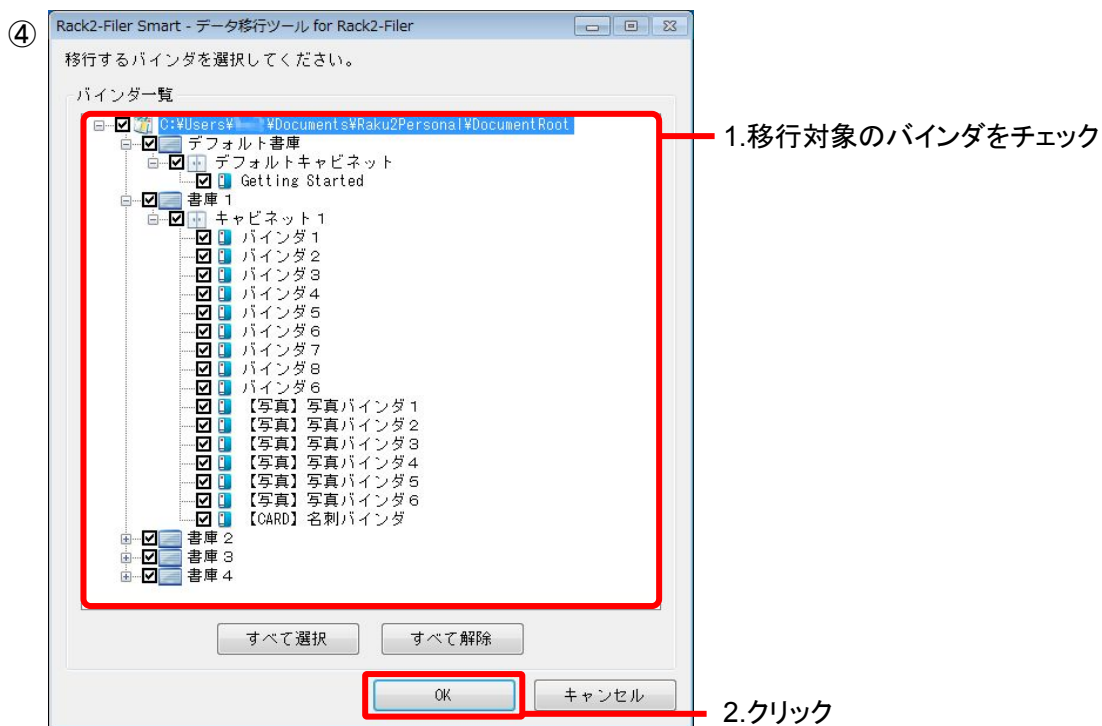
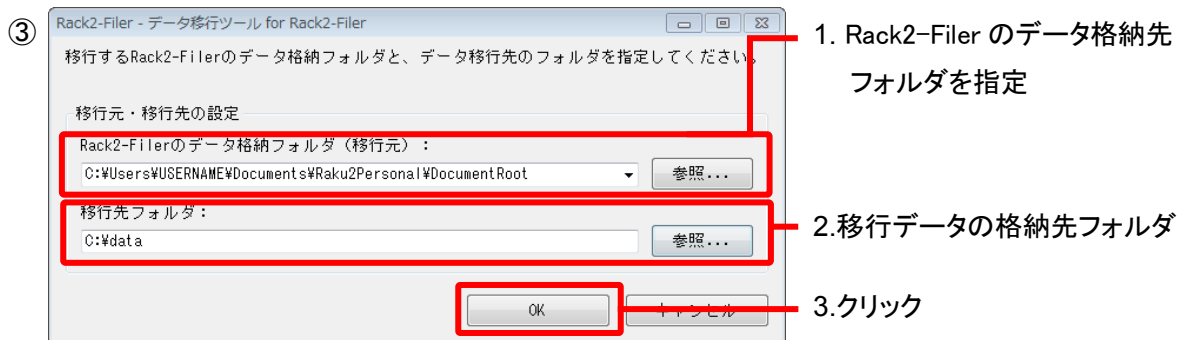
[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]-[Rack2-Filer Smart]-[データ移行ツール for Rack2-Filer]を選択します。

②



1.メッセージ内容を確認

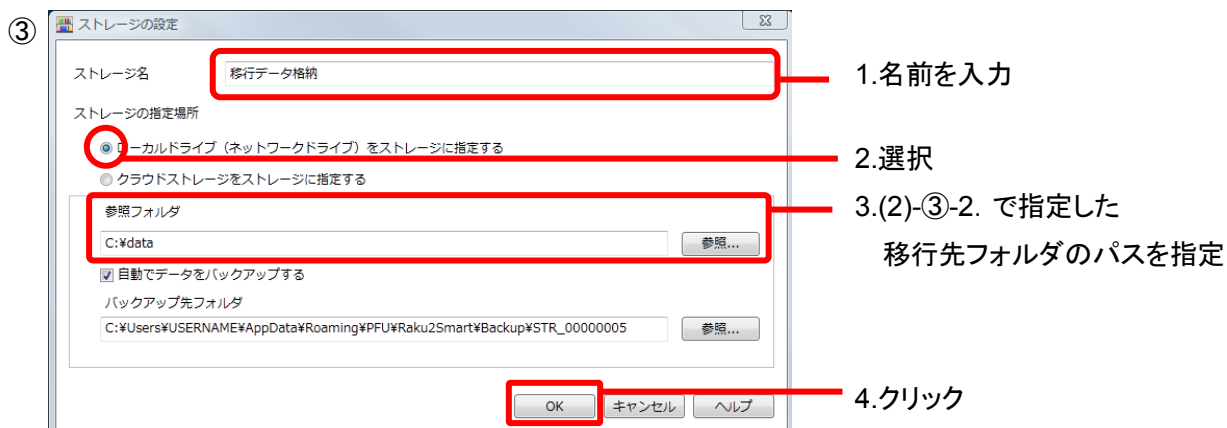
2.クリック



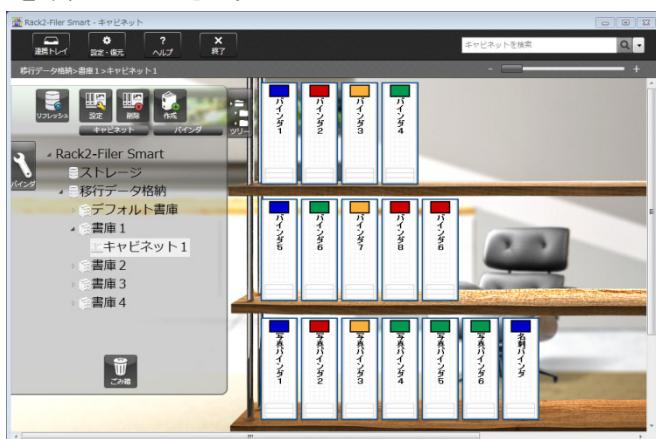
### (3) Rack2-Filer Smart のデータ格納先フォルダの設定を行う

移行してきたデータを、Rack2-Filer Smart のストレージとして設定します。

- ① Rack2-Filer Smart を起動します。



- ④ 移行したデータが表示されます。移行されたバイндаを開き、正しくデータが移行されているかどうかを確認してください。



以上で、データ移行は完了です。

データ格納先フォルダが複数ある場合は、移行したいフォルダについて、それぞれ移行操作を行ってください。

## 6. データ移行の結果確認

データ移行の結果は、「移行結果通知ファイル」に通知されます。移行結果通知ファイルは、移行先フォルダ直下に、「Rk2ConvertData\_(処理を実行した年月日時分秒).txt」というファイル名で作成されます。

移行結果通知ファイルには、移行対象として選択 / 処理したバインダの数、および、バインダ異常 / 移行エラーがあった場合の原因と対処方法が通知されますので、ファイルの内容を確認のうえ、対応してください。

## 7. Rack2-Filer との互換性について

Rack2-Filer の提供機能で、Rack2-Filer Smart V1.0 でサポート対象外となる機能と、代替機能を説明します。Rack2-Filer Smart の仕様、機能の詳細については、『キャビネット画面ヘルプ』または『ビューア画面ヘルプ』を参照してください。

Rack2-Filer の機能 (Rack2-Filer Smart で未サポートの機能)		Rack2-Filer Smart V1.0 の 仕様 / 代替機能
バインダ	目次 / 未読一覧	ビューア画面のコントロールタブから、目次/未読一覧を表示することができます。
	サムネイル	ビューア画面のアイコンボタンから、サムネイルを表示できます。 また、サムネイルからバインダ内のページ編集ができます。
	バインダのタイトル書式(スタイル、サイズ、文字セット、文字フォント名、文字飾り)	- ※固定の書式です。
バインダのページ	最大ページ数の選択 (500 / 1000 ページ)	最大ページ数は 1000 ページ固定です。
	ページの余白の設定	- ※ページ周辺の余白は表示されません。
	対象表示範囲を指定する機能	各ページの表示範囲は 100%固定です。

ビューア画面	閲覧	検索文字列をハイライト表示する機能	-
		ページを回転して縦見開きで表示	1 ページモードで、左回転 / 右回転を行います。
		ページの横の厚みを指定してめくる機能	ジャンプスライダーを使用して、目的のページへジャンプできます。
	編集	原稿の片面(表面 / 裏面)をまとめて削除	-
	出力	写真データの出力(JPEG / PDF)	「電子ファイルのエクスポート」機能で代替できます。
	動作環境の設定	表示モード(標準表示 / 最大表示)	ズームバーでスムーズな拡大 / 縮小表示が可能です。
		バイнда中央の金具(2 個)表示	-
		PDF 作成モード(通常モード / サイズ優先モード)	- ※従来の通常モードで作成されます。
	めくり設定	アニメーションの有無 / めくり速度を指定する機能	設定画面から、めくりのアニメーションを無効にできます。めくりのアニメーションを無効にすると、ページが早くめくられるようになります。
		連続して自動でページをめくり続ける機能	-
入力設定	電子データを取り込む際、リンク情報を取り込む機能	- ※必ず実ファイルとして取り込まれます。	
WorkArea 画面	名称	「連携トレイ」という名称になります。	
	データ取り込み 【詳細】	ScanSnap で読み取ったデータ / Rack2-Filer Smart for iOS および Rack2-Filer Smart for Android で作成したメモを取り込むことができます。 バイнда間でページ入れ替えを行う場合は、バイнда内のサムネイルで行うことができます。	
	データ表示 / 編集 / 出力 【詳細】	バイндаへのデータ移動 / 削除のみが可能です。サムネイル内のページ閲覧や編集・出力をする場合、サムネイルをバイндаに移動してから、ビューア画面で行ってください。	

クラウド連携(Evernote / Google ドキュメント / SugarSync / Salesforce Chatter への PDF 転送)	バイндаのデータをローカルフォルダへ PDF 出力することができます。出力した PDF を目的に応じてご利用ください。
モバイル連携 (ScanSnap Connect Application への PDF 転送)	同上
ScanSnap で読み取ったデータを Word / Excel / PowerPoint 文書に変換(オフィス変換)	ScanSnap Organizer をご利用ください。
マーカー切り出し機能	ScanSnap Organizer をご利用ください。
検索結果の表示 【詳細】 <ul style="list-style-type: none"> <li>検索されたページを検索結果バイндаにまとめる</li> <li>検索結果を強調表示する</li> </ul>	-
連携ソフトウェア	-
TWAIN 対応スキャナからのデータ取り込み	いったんファイル形式(PDF や TIFF など)で保存してから、バイндаに取り込んでください。
ScanSnap Organizer にて[オフィス機能]-[Rack2-Filer に保存]へファイルをドラッグ&ドロップ 【詳細】 Rack2-Filer の[環境設定]-[ScanSnap-Rack2 連携]タブにて、Rack2-Viewer または WorkArea 未起動時の ScanSnap からのデータ保存先を選択 <ul style="list-style-type: none"> <li>WorkArea</li> <li>取り込み時にバイнда管理画面で選択しているバイнда</li> <li>取り込むたびに、バイнда選択画面で指定する</li> </ul>	ScanSnap Organizer にて[オフィス機能]-[Rack2-Filer Smart に保存]へファイルをドラッグ&ドロップした場合、[バイнда選択]画面からデータの保存先を指定します。

- : 代替手段なし

## 本書の記載について

### ソフトウェアの表記

ソフトウェア	マニュアルでの表記
Microsoft® Word 2013 Microsoft® Word 2010 Microsoft® Office Word 2007 Microsoft® Office Word 2003	Word
Microsoft® Excel® 2013 Microsoft® Excel® 2010 Microsoft® Office Excel® 2007 Microsoft® Office Excel® 2003	Excel
Microsoft® PowerPoint® 2013 Microsoft® PowerPoint® 2010 Microsoft® Office PowerPoint® 2007 Microsoft® Office PowerPoint® 2003	PowerPoint
Google ドキュメント™	Google ドキュメント

### オペレーティングシステムの表記

オペレーティングシステム	マニュアルでの表記	
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版	Windows 98	Windows
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版	Windows Me	
Windows® 2000 Professional operating system 日本語版	Windows 2000	
Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 (32 ビット版)	Windows XP	
Windows® XP Professional operating system 日本語版 (32 ビット版)		
Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)	Windows Vista	
Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows Vista® Business operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		

Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）	Windows Vista	Windows
Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 7 Starter operating system 日本語版（32 ビット版）	Windows 7	
Windows® 7 Home Premium operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 7 Professional operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 7 Enterprise operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 7 Ultimate operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 8 operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 8 Pro operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 8 Enterprise operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 8.1 operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）	Windows 8.1	
Windows® 8.1 Pro operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		
Windows® 8.1 Enterprise operating system 日本語版（32 ビット版、64 ビット版）		

## 本書の画面について

- 本書では、Windows 7 の画面写真を操作説明に使用しています。
- 本書では、Rack2-Filer V5.0L61の画面写真を操作説明に使用しています。

## 商標

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Microsoft Excel、および PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Word は、米国 Microsoft Corporation の製品です。
- Evernote は、Evernote Corporation の登録商標または商標です。



- Google およびGoogle ドキュメントは、Google Inc. の登録商標または商標です。
- SugarSync は、SugarSync Inc. の商標または登録商標です。
- Salesforce、Salesforce ロゴは米国その他の国における米セールスフォース・ドットコム (salesforce.com, inc.) の登録商標または商標です。
- ScanSnap および Rack2-Filer は、株式会社PFU の日本における登録商標または商標です。
- その他の商品名、会社名は、一般に各社の商標または登録商標です。

---

## Rack2-Filer Smart データ移行ガイド

P2WW-3050-03Z0

発行日 2014 年 1 月

版数 第 3 版

発行責任 株式会社 PFU

- 
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
  - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
  - 無断転載を禁じます。